



# IR HANDBOOK

第68期 第2四半期のご報告  
2016.4.1▶2016.9.30

人を豊かに、地球を美しく

# 私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。

貴金属関連事業（「貴金属事業」「環境事業」）を拡大・成長の牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、安定性と成長性を実現する企業づくりを行っています。

拡大・成長  
牽引部門

## 貴金属関連事業

売上高構成比  
63.8%

### 事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



### 貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向け貴金属材料の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としています。

### 環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

### 貴金属事業の強み

1. 貴金属化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の貴金属市場で流通が認められています。

### 環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

### 事業フロー



安定的成長  
部門

## 食品関連事業

売上高構成比  
36.2%

### 事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



### 事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材（水産品・畜産品・農産品など）を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

### 事業の強み

1. ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

### 事業フロー





代表取締役社長 松田 芳明

## 中期経営計画の重点方針への 取り組みを着実に進め、 持続的発展に向けた成長力、 収益力を確保してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社の2017年3月期第2四半期（2016年4月1日～2016年9月30日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

### 2017年3月期第2四半期の業績と配当につきまして

当第2四半期においては、雇用情勢や所得環境の改善が続いたものの、個人消費には力強さを欠き、企業収益の改善にも足踏みがみられたほか、新興国経済の低迷や英国のEU離脱問題等の世界経済情勢も含め、先行き不透明な状況で推移しました。

こうしたなか貴金属関連事業では、貴金属原料の確保や化成品等の製品販売、産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んだほか、海外ではベトナム現地法人における製錬工場の本格稼働など積極的展開を進めたものの、金製品・電子材料等の販売減や貴金属価格の下落の影響等から減収減益となりました。食品関連事業では、顧客ニーズをとらえた商品の開拓・提供に注力したほか、海外拠点の活用も含め積極的な営業活動により拡販に努めたものの、水産品・畜産品の販売数量減や全体的な価格下落の影響等から減収減益となりました。

以上により、当社の2017年3月期第2四半期累計の連結業績は、売上高は前年同期比7.4%減の790億12百万円、営業利益は同39.2%減の12億45百万円、経常利益は同39.4%減の14億27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同38.2%減の9億69百万円となりました。

第2四半期末の配当金につきましては、業績は期初予想を下回りましたものの、株主の皆様から当社への中長期的な成長ご期待にお応えすべく、期初予定通り1株当たり14円といたしました。2017年3月期の期末配当も14円とし、年間配当金は前期と同額の28円とする予定です。

### 2017年3月期第2四半期 ハイライト

#### 貴金属関連事業

- 2016年4月 第3回高機能金属展2016に出展
- 2016年6月 JPCA Show 2016に出展
- 2016年9月 岐阜県関市に工場・設備等の資産を取得

#### その他経営関連

- 2016年5月 中期経営計画(2016-2018年度)をスタート
- 2016年6月 執行役員制度をスタート

### 中期経営計画を着実に進め、 さらなる企業価値・株主価値の向上に邁進します

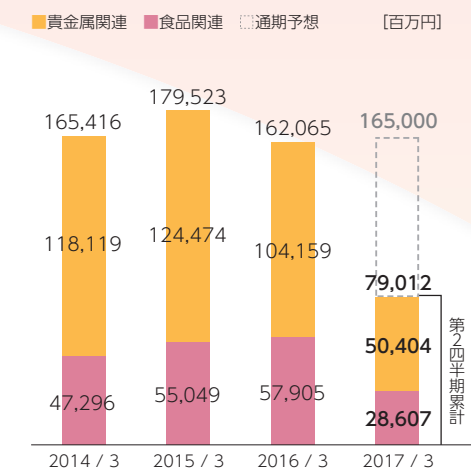
当面は事業環境の厳しさが継続する見込みであることなどから2017年3月期通期業績予想も下方修正いたしました。当社グループは当期よりスタートした中期経営計画(2016-2018年度)で掲げた5つの重点方針「既存事業の収益極大化」「新たな収益源の構築」「東アジア地区での積極拡大」「最適な管理体制の構築」「人材育成・確保」への取り組みを着実に進めることで、中長期的な企業価値向上、株主価値向上に努めてまいります。

貴金属関連事業では、顧客ニーズにマッチしたアイテムの拡充や環境価値の高い商品・サービスによりシェアと収益性の向上を図るほか、顧客の生産性向上に資する新たな商材・技術の開発によってさらなる事業拡大に努め、引き続き「東アジアNo.1リファイナー」を目指します。これらの実現に向けた取り組みの一環として、本年9月、貴金属関連事業の国内生産2拠点化へ向けた土地・建物・設備等を取得しました。これにより国内生産体制の強化・充実はもちろん、東アジアネットワーク全体の効率改善と、グローバル競争力の強化に弾みをつけていく構えです。

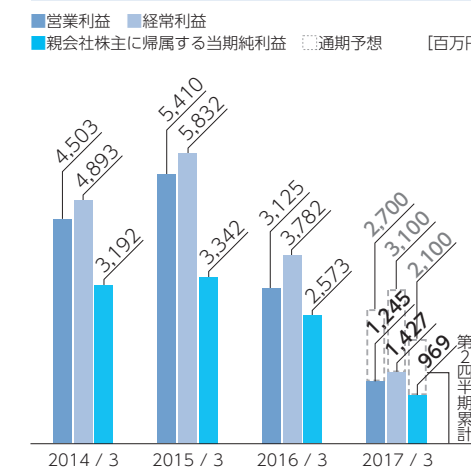
食品関連事業では、今後も当社ならではの安全・安心・高品質な商品の安定的供給によって市場拡大と収益向上を図るほか、顧客ニーズに対応した加工や新たな商品ラインアップで事業拡大を図るとともに、東アジアにおける良質な供給ソースの確保と調達力の強化により、市場拡大の可能性を追求します。加えて水産品においては、本年2月に連結化したガルフ食品株式会社との相乗効果を含め、事業拡大の加速を図ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

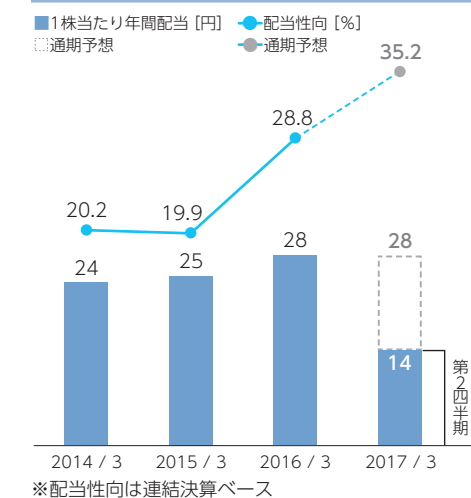
### 売上高



### 営業利益／経常利益 ／親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり年間配当／配当性向

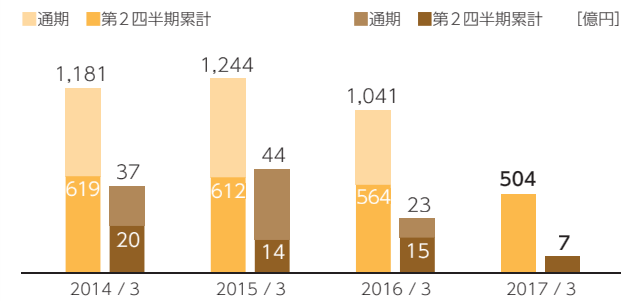


# 営業概況&グローバルネットワーク

## 貴金属関連事業

**売上高**  
504億円  
(前年同期比 10.6%減)

**営業利益**  
7億円  
(前年同期比 47.6%減)



### 2017年3月期第2四半期の業績

貴金属リサイクルおよび産業廃棄物処理の取扱量は横這いで推移したものの、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況に伸長がみられず写真感材市場の縮小も継続したことなどから、金製品および電子材料等の販売量が減少しました。加えて貴金属販売価格の下落もあり、売上高は減少しました。

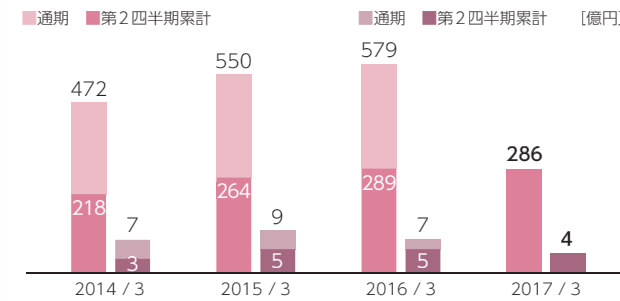
### 通期の見通しと施策

エレクトロニクス産業等の生産状況に引き続き伸び悩みが予想されますが、中期経営計画に基づき、**貴金属リサイクル・環境保全のノウハウやインフラを最大限に活用**していくほか、**高性能電子材料や洗浄・メンテナンス技術の開発強化**など、中長期的成長へ向けた重点戦略を進めていきます。

## 食品関連事業

**売上高**  
286億円  
(前年同期比 1.2%減)

**営業利益**  
4億円  
(前年同期比 15.3%減)



### 2017年3月期第2四半期の業績

農産品の販売数量が増加したものの、個人消費の伸び悩みにより食品製造業の生産活動に力強さを欠くなど厳しい事業環境が続いたことから、水産品、畜産品の販売数量が減少しました。加えて全体的な販売価格の下落もあり、売上高は減少しました。

### 通期の見通しと施策

国内個人消費の停滞感は継続する見込みですが、中期経営計画に基づき、**品質保証等に関するノウハウや調達力を活かし安全・安心かつ高品質な食品原材料の安定的供給に注力**するほか、**海外を含めた市場拡大や収益向上**など、中長期的成長へ向けた重点戦略を進めていきます。

## Topics

### 国内生産の2拠点化へ向けて、工場・設備等の資産を取得

貴金属関連事業ではかねてより、貨物の集約や前処理設備の拡充を通じた効率化のほか、災害時における事業継続性の強化を念頭に、西日本地域での生産拠点の新設による国内生産2拠点化構想を検討してきました。このたび、この構想に適した立地に譲渡物件があり、本年9月に土地・建物・設備等の資産を取得しました。今回の資産取得により、さらなる国内拠点の強化・充実と効率改善、大規模災害リスクの低減化を進め、企業価値の向上に繋げてまいります。

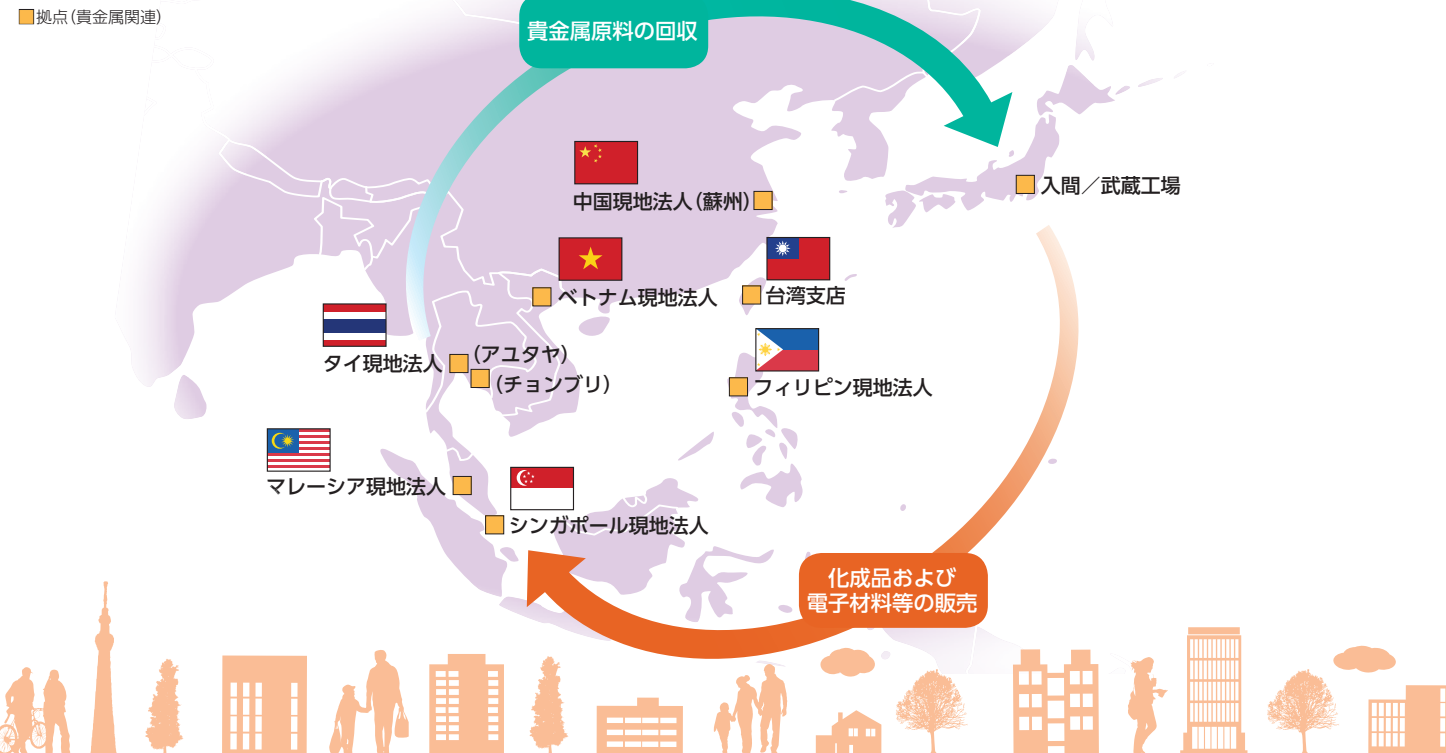
■所在地：岐阜県関市関テクノハイランド内

### 国内生産の2拠点化へ



### 貴金属関連事業 東アジアネットワーク

■拠点(貴金属関連)



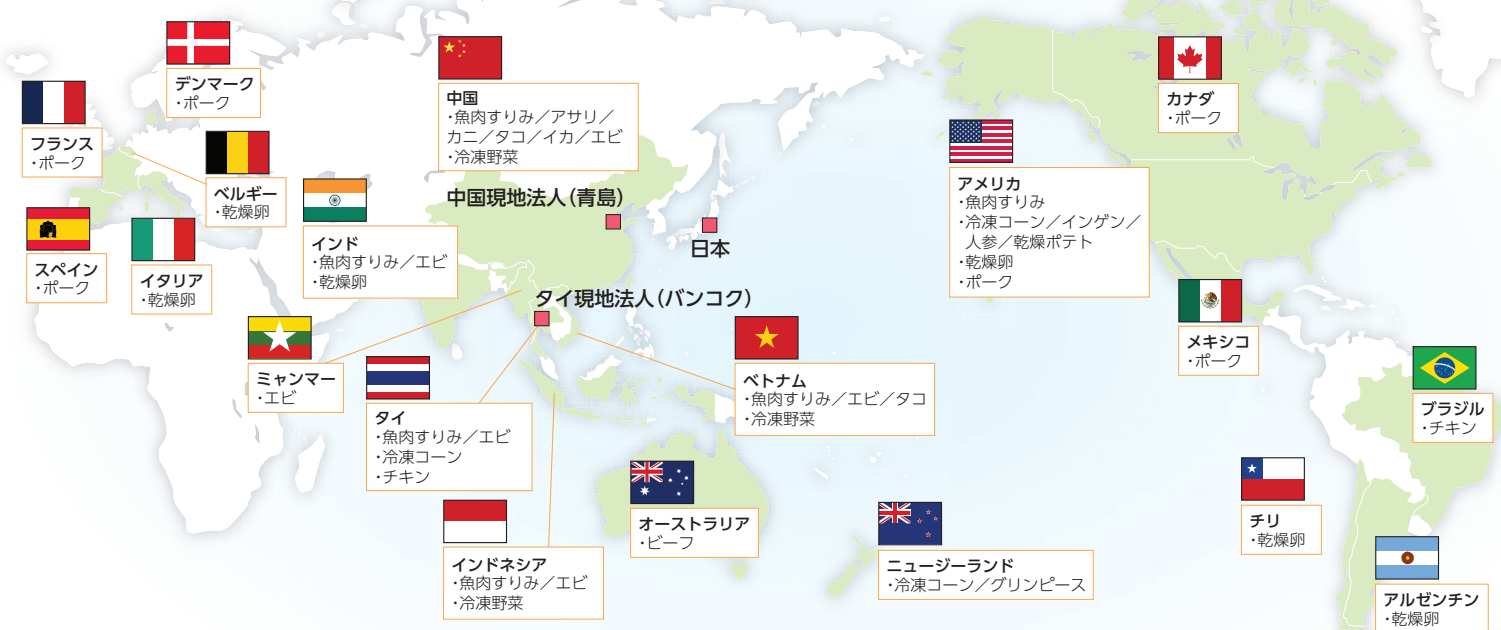
## Topics

### 冬の食卓に大活躍、松田産業の食材

師走も押しせまり、クリスマスケーキやクリスマスチキン、おでん、鍋物、おせち料理など冬のグルメが楽しみな時節となりました。当社の食品関連事業が扱う水産品や畜産品、農産品が冬の食卓で大活躍しています。例えば、クリスマスケーキに不可欠な卵のほか、おでん・鍋物の主役となる水産練り製品・各種魚介類、また、お正月のおせち料理では伊達巻やかまぼこ、エビなどの水産品・畜産品が食卓を彩り消費されます。今年の冬も、当社は安全・安心な食材を調達・提供し、冬の食卓を支えてまいります。



### 食品関連事業の拠点と主な調達先



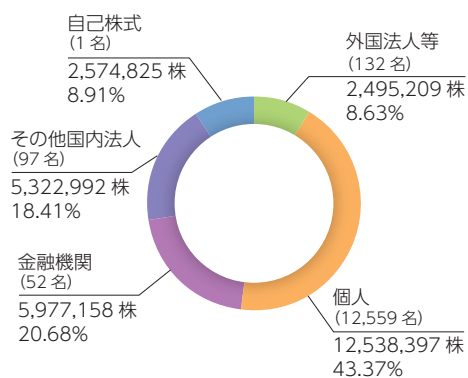
## 会社概要 (2016年9月30日 現在)

商号	松田産業株式会社	従業員数(連結)	1,059名
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2	主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
設立年月日	1951年6月18日	会計監査人	新日本有限責任監査法人
資本金	3,559百万円		

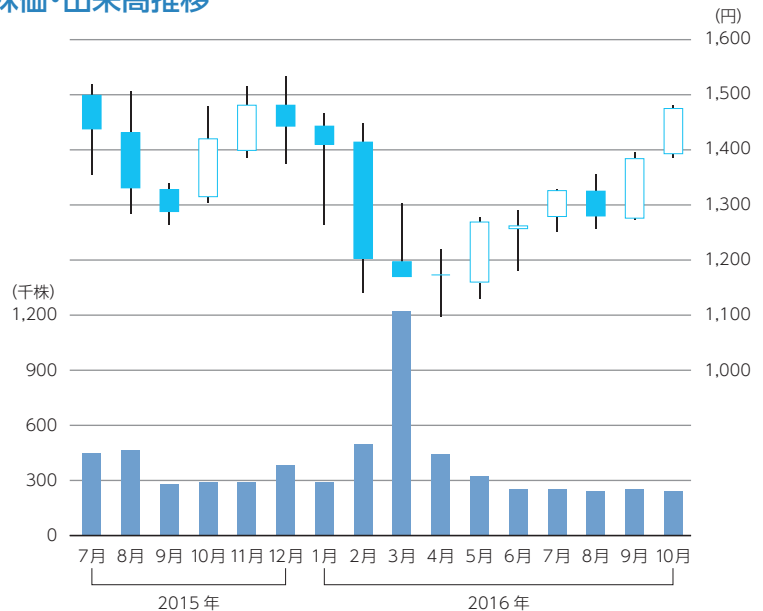
## 株式の状況 (2016年9月30日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	12,841名

## 所有者別分布状況 (2016年9月30日 現在)



## 株価・出来高推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html">http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待

### 1 対象株主

毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。

※ただし、2017年3月31日を基準とする株主優待に限り、1単元以上を半年以上継続保有(同じ株主番号で、2016年9月30日現在および2017年3月31日現在の株主名簿に連続で記載または記録)する株主様も対象といたします。

### 2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



### 3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

## ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル  
Tel. 03-5381-0001 (代表)

